



弘前医療福祉大学短期大学部紀要

*Journal of Hirosaki University
of
Health and Welfare Junior College*

第2巻 第1号
2014年3月発行

弘前医療福祉大短期大学部紀要
J. Hirosaki Univ. Health Welf. Junior College.

弘前医療福祉大学短期大学部紀要編集委員会

目 次

[原 著]	地方観光都市における飲食業に求められていること—青森県の事例から— 牛田 泰正	1
[原 著]	疾走中における体幹部の動作特性 千葉 智博	9
[研究報告]	福祉施設利用者への音楽ボランティア導入の実際と今後の課題 —「音楽ボランティア協会・赤とんぼ」の活動から— 相澤 保正	17
[研究報告]	新教材 [PEPACO] 大溝 文清	23
[研究報告]	清拭が身体や精神・心理面に及ぼす影響とストレス 山口かおる、奈良 知子、木村千代子	31
[研究報告]	介護技術講習への外国人受講者に対する取り組み 中村 聡、福士 尚葵、工藤 雄行、相馬 陽子、山口かおる、戸来 睦雄	39
[研究報告]	だしの風味への嗜好性と食生活との関係についての調査研究 三上 統生	43
[資 料]	グループワークによる「介護過程」の授業展開 —重度認知症高齢者の施設サービス計画について— 寺田富二子	51
[資 料]	介護支援専門員が行う事例検討会の期待と課題 工藤 雄行、大沼 由香、峯尾 武巳	59
	紀要規程・投稿要項	65
	編集後記	
	紀要編集委員会委員	

弘前医療福祉大学短期大学部紀要投稿規定

- 1 本紀要への投稿者は、弘前医療福祉大学短期大学部の教員及び非常勤講師とする。
(共同執筆者に卒業生を含むことは差し支えない)
なお、この他弘前医療福祉大学の教員及び非常勤講師の寄稿及び依頼原稿も含むものとする。
- 2 原稿は、未発表のもので、① 原著論文、② 事例研究・事例報告などの研究ノート、
③ 最近における介護福祉・食育福祉に関する内外の知見や調査レポートなどの資料とする。
- 3 投稿原稿は、和文または欧文とし、本原稿のほかにコピー2部とCDまたはUSBメモリーを添付する。提出に際しては、図・表・写真・本文・要旨の内訳を明記する。
- 4 投稿原稿は、資料の引用、差別用語、説明と同意などの倫理的配慮の記述をする。
- 5 投稿原稿はすべて掲載するが、原則として一人一編とする。本文の長さ、図・表・写真の大きさなど編集上不都合が生じる場合または印刷体裁が整わない場合には、変更を求めることがある。
- 6 投稿原稿は紀要編集委員長に提出するものとし、投稿の締め切りは毎年10月末日とする。
- 7 校正は二校までは投稿者が行う。初稿段階における大幅な変更は原則的に認めない。
また、二校における内容にわたる修正も認めない。

弘前医療福祉大学短期大学部紀要執筆要項

- 1 投稿原稿はA4版、10ポイントで1枚につき40字（英字・数字は半角）×40行横書きとする。

原著論文、事例研究・事例報告などの研究ノートは10枚（16000字）以内とし、最近における介護福祉・食育福祉に関する内外の知見や調査レポートなどの資料は5枚（8000字）以内とする。但し、図表1枚は800字（半数）分に数えるものとする。

欧文原稿は、A4版の用紙を使って用紙の左右2.5~3.0cm、上下3.5~4.0cmの余白をとり、ダブルスペースで1行約60打字25行のタイプライト（用紙1枚に約300words入ることになる）をしたものとする。

欧文は必ずnative speakerによる校閲を受けたものであること。

- 2 図・表等は、各々1枚の用紙に図1または表1と書く。表題・図・表・写真は別葉とし、本文中に入れない。掲載箇所は、本文原稿の右端欄外に赤字で図・表・写真の番号をもって指定する。

図表原稿の大きさは、A4版を越えないことを原則とする。折りこみについてはできるだけ避けるようにする。

- 3 和文表題には、欧文表題・著者名の英文を付す。欧文の場合には、表題・著者名・所属の順とする。
- 4 本文とは別葉に、400字以内の和文要旨とキーワード3~5語を記す。欧文要旨を付す場合は300語以内とし、keywords 3~5語を記す。
- 5 注は、本文中にその位置をアラビア数字で（ ）中に指示し、注記は、各論文の形式に適した位置に置く。なお、注の活字は本文の活字よりもポイントを下げてもよい。
- 6 引用文献の記載は、ポイントを下げ、それぞれの学会誌等に順ずる。
- 7 他の出版物から図・表等の資料を引用転載する場合は、その資料が著者自身のものであっても、必ず出典引用する。

編 集 後 記

「紀要第2号」を皆さんにお届けすることができて、紀要編集委員会の委員一同ホッとさせていただきます。

この「第2号」には、第1号を上回る9編の斬新かつ独創的な力作が収められています。多忙な業務の中限られた時間の中で、それぞれの専門分野における貴重な研究成果をご投稿いただいた先生各位の熱意と意欲に対して、心から敬意を表しますとともに厚くお礼を申し上げる次第です。

ところで、本学にとって平成25年という年は、新しい学科、「救急救命学科」が誕生するという忘れられない年になりました。間もなく、新しい先生方をお迎えすることができることは誠に喜ばしいことです。これからは生活福祉学科と救急救命学科が相携えて、本学の益々の隆盛・発展のため努力しなければならないと決意を新たにしています。

「紀要」は、教員各位がそれぞれの専門分野における研究の成果を情報発信することのできる貴重な場です。従って毎年絶えることなく発行され続けることにその意義があると思います。先生各位には、今後とも意欲的で個性あふれる研究成果をご投稿下さるよう、よろしくお願いを申し上げます。

弘前医療福祉大学短期大学部
紀要編集委員会

委員長 葛原 徹
副委員長 牛田 泰正
委員 早川 和江
委員 工藤 雄行
委員 福士 尚葵

Journal of Hirosaki University of Health and Welfare Junior College

弘前医療福祉大学短期大学部紀要

第2巻 第1号

平成26年3月31日発行

編集・発行 〒036-8102 弘前市小比内3-18-1
弘前医療福祉大学短期大学部内 紀要編集委員会
TEL：0172-27-1001

印刷所 〒036-8061 弘前市神田4-4-5
やまと印刷株式会社
TEL：0172-34-4111 FAX：0172-36-3299

Contents

[Original]

The food and catering business in local places of tourism: changes that need to be made:
Study from Aomori case

Yasumasa Ushida 1

[Original]

Operating characteristics of the trunk during the sprint

Tomohiro Chiba 9

[Report]

Volunteer – led music therapy for nursing home patients—Music Volunteer Association “Akatonbo” Study—

Yasumasa Aizawa 17

[Report]

New teaching materials [PEPACO]

Fumikiyo Omizo 23

[Report]

Physical, Mental and Psychological Effects and Stresses of Bed Baths

Kaoru Yamaguchi, Tomoko Nara, Chiyoko Kimura 31

[Report]

An approach to foreign participants in the social care skill training

Akira Nakamura, Naoki Fukushi, Yuko Kudo, Yoko Soma, Kaoru Yamaguchi, Mutsuo Herai 39

[Report]

Research and study about relation between a preference for flavor of natural soup stock and eating habits

Norio Mikami 43

[Reference material]

“Process of care” curriculum development through group work

Fujiko Terada 51

[Reference material]

Expectations and Issues Facing Care Manager Based Case Study Committees

Yuko Kudo, Yuka Ohnuma, Takemi Mineo 59